

# 東海地震に関する専門調査会の検討の流れ

この20数年間の観測データの蓄積等から得られた知見

- ・ 地下のプレートの状況の把握
- ・ 未破壊領域や固着している部分の推定
- ・ 被害予測手法の進歩
- ・ GPS等の進歩による地殻運動の正確な把握
- ・ 海底の地形や地殻構造の詳細な把握
- ・ 過去に起きた地震の震源域の詳細な推定
- ・ シミュレーション解析による地表変形や地中応力の変化の推測

直前予知の可能性を踏まえた想定震源域は  
どんな位置、形状なのか  
(6月19日、中間とりまとめ)

< 前回の想定震源域 >

プレートの形状がまだよく分からなかった  
ので、単純な長方形の平面を震源域として仮定



< 今回の想定震源域案 >

プレート同士が固着している領域を反映した実際の立体的なプレート形状にあわせた震源域

地震の揺れの強さや津波の高さの予測手法の検討

各地域での予想される地震の揺れの強さや津波の高さはどれくらいか

著しい被害を受ける範囲(直前予知を含む防災対策を実施すべき地域)はどこまでなのか

より正確な予知や、よりの確な防災対策に反映